2022年12月期　決算説明会

静岡ガス株式会社

TSE:9543

2023年2月10日

目 次

Ⅰ. 2022年12月期決算の概要 … 3

Ⅱ. 2023年－2025年　中期経営計画 … 7

Ⅲ. 参考資料:財務諸表等 … 21

注意	

- 本情報は、2023年2月10日現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれています。
- 経済・競合状況等にかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

Ⅰ．2022年12月期決算の概要

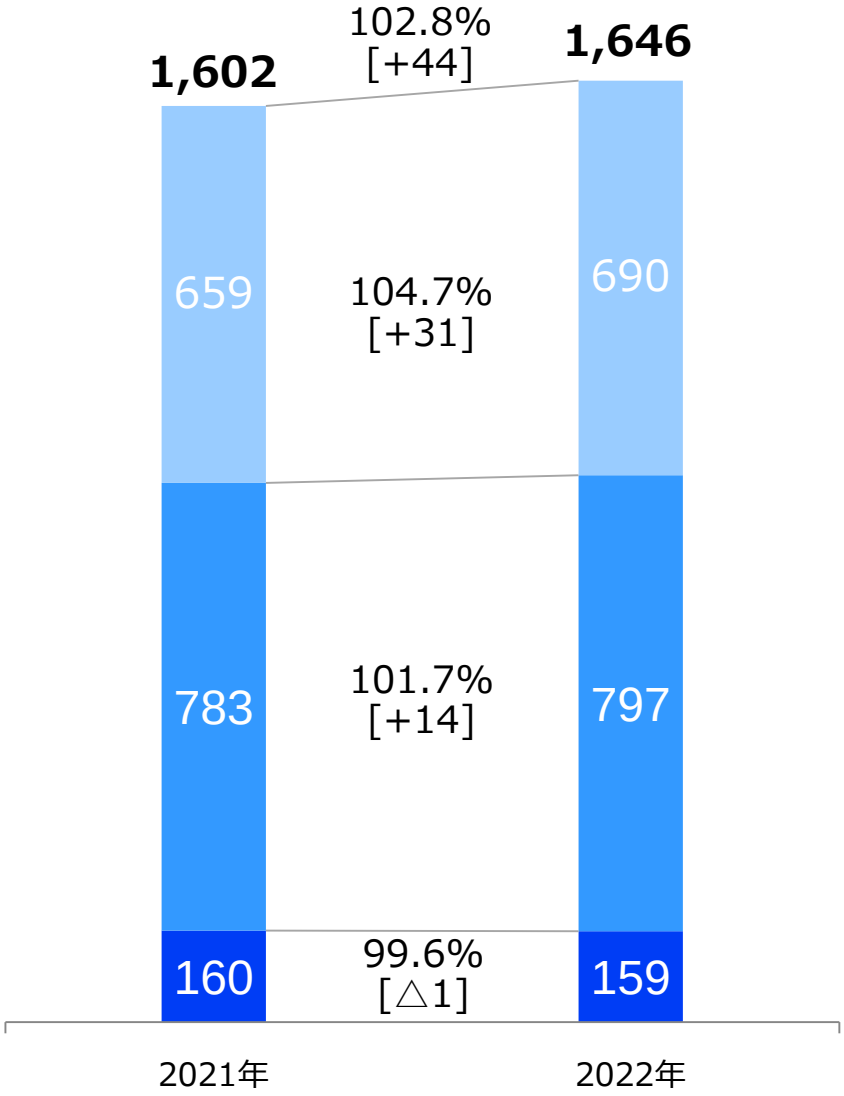
決算のポイント

◎2022年決算：増収増益

- ガス販売量は2.8%増加
  →卸売・大口ともに既存のお客さまの稼働増加による。
- ガス販売量の増加やガス販売単価の上方調整等により、売上高は55.9%増加、営業利益はLNG調達価格の抑制に努めたことなどにより73.0%増加

	2021年	**2022年**	増減	前期比（%）
●ガス販売量　個別（百万m³,45MJ）	**1,602**	**1,646**	+44	*102.8*
卸売	**659**	**690**	+31	*104.7*
大口	**783**	**797**	+14	*101.7*
小口	**160**	**159**	△1	*99.6*
●売上高　（億円）	**1,329**	**2,073**	+743	*155.9*
●営業利益　【タイムラグ補正後】　（億円）	**146**	**228**	+82	*156.4*
営業利益　（億円）	**49**	**86**	+36	*173.0*
スライドタイムラグ	**△96**	**△142**	△46	–

ガス販売量実績 個別



単位：百万m³(45MJ)

*[ ]内は、販売量増減（百万m³）を表示

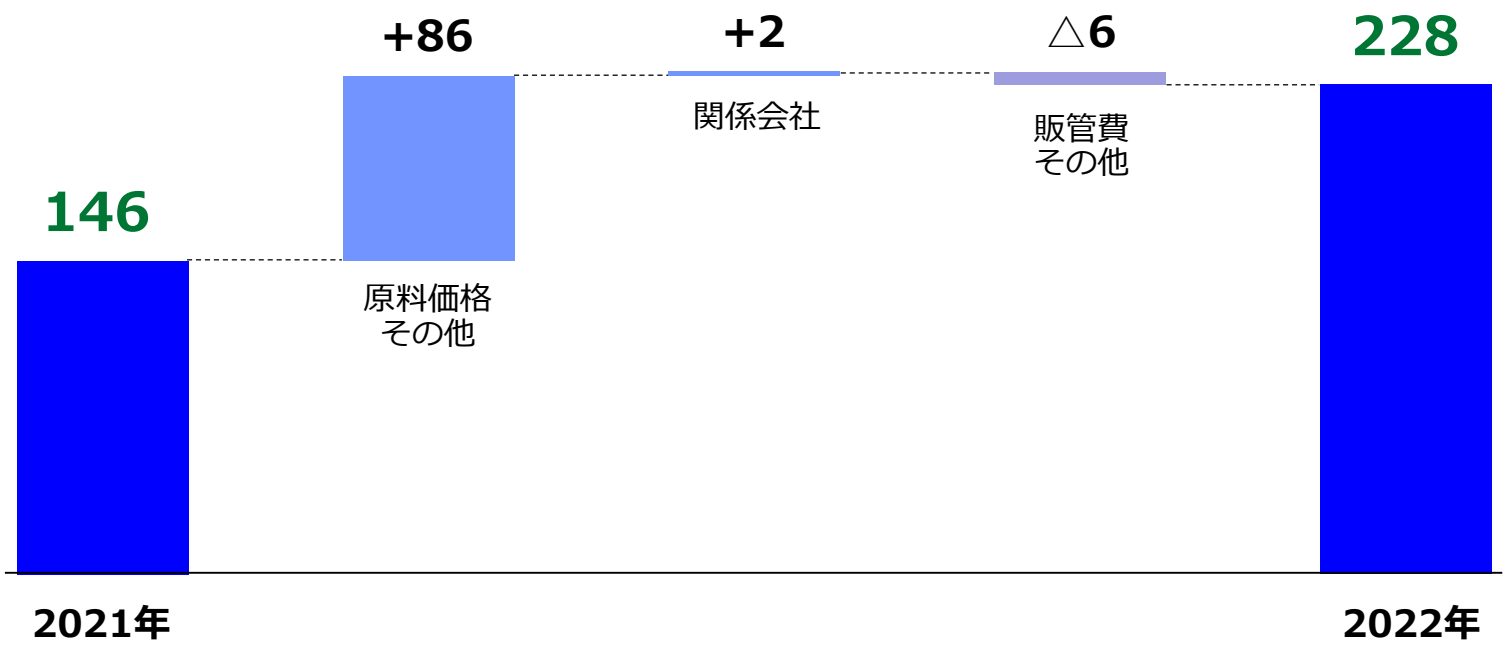
*百万m³未満四捨五入

卸売	・卸先の販売量増	[+31]
大口	・2021年新規お客さまの通年稼働	[+1]
	・2022年新規お客さまの稼働	[+2]
	・既存のお客さまの販売量増	[+11]
小口	・業務用／工業用の販売量増	[+2]
	・家庭用の販売量減	[△2]

営業利益の分析（対2021年）

単位：億円
*億円未満切捨て

	2021年	2022年	増減
補正後営業利益	**146**	**228**	**+82**
営業利益	**49**	**86**	+36
スライドタイムラグ	△**96**	△**142**	△46

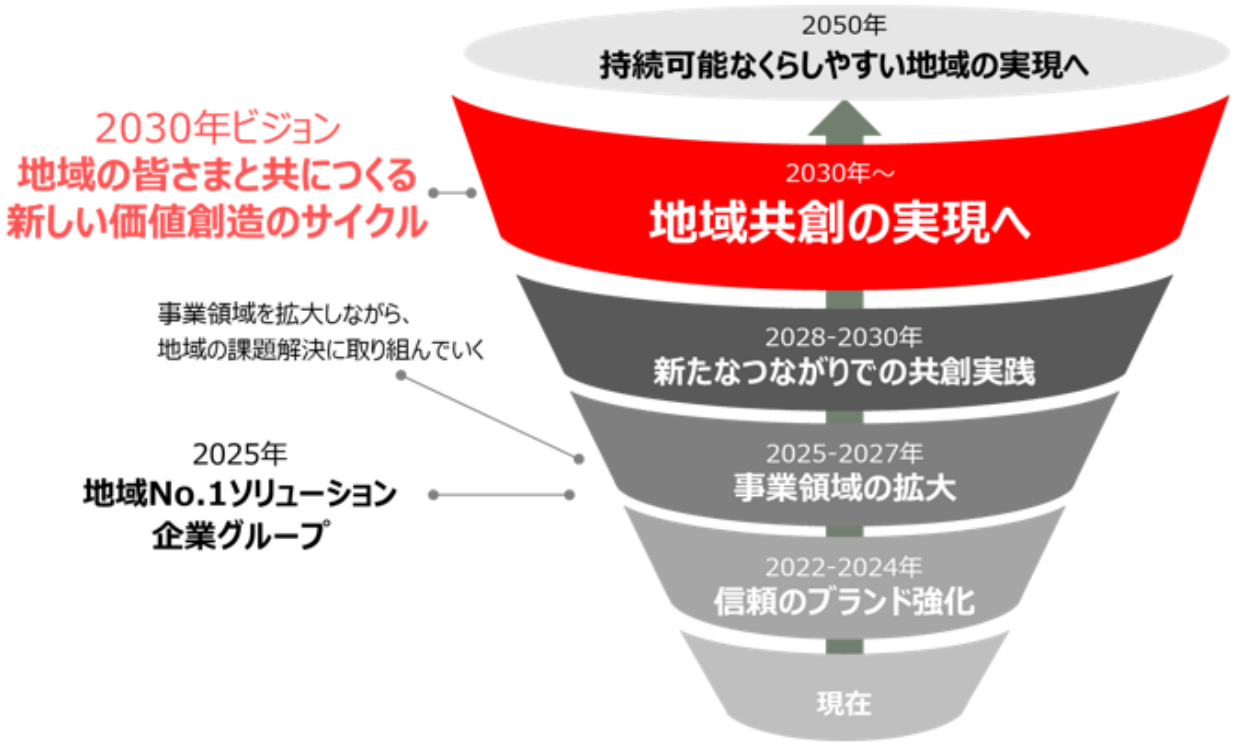


Ⅱ. 2023年－2025年　中期経営計画

2023年－2025年　中期経営計画

中期経営計画の方向性

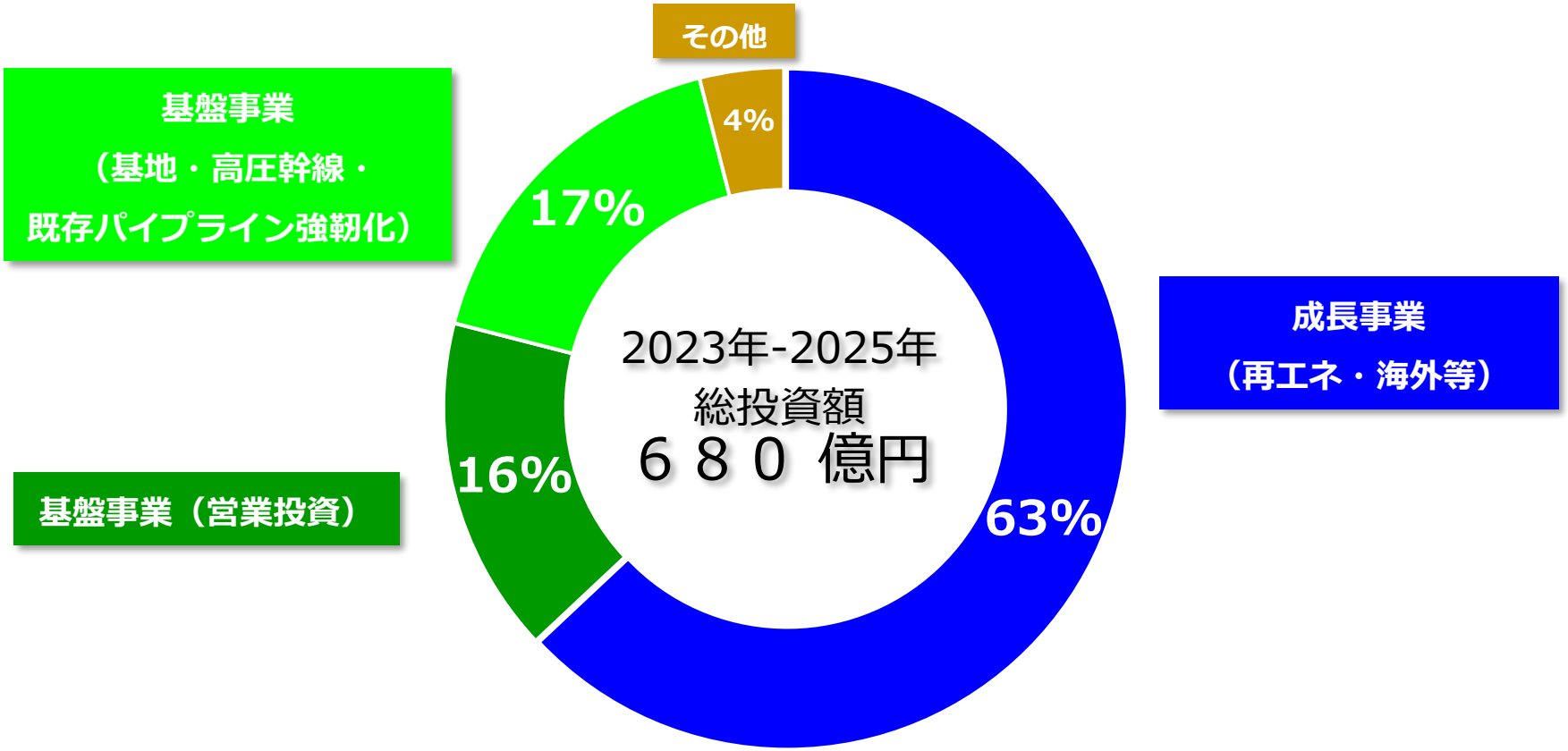
- 本中期経営計画の3か年は、グループ2030年ビジョンに掲げた「地域共創」の具現化に向けた序盤戦であり、「ホップ（助走）＝信頼のブランド強化」から「ステップ（踏み込む）＝事業領域の拡大」に差し掛かる期間。基盤事業の更なる成長と効率化を進めるとともに、成長事業を更に拡大・深化させる。



投資計画

基盤事業への継続的投資と成長投資の加速

- 基盤事業拡大のため営業投資を継続する。
- 再エネ・海外等、成長事業への投資をさらに加速する。



地域のレジリエンス向上

安全・安心・安定供給／より災害に強いエネルギーに

- 主要設備の強靭化対策が2022年で概ね完了。
- DX活用により、安全・安心・安定供給の更なる向上や効率化に取り組む。

清水エル・エヌ・ジー(株)袖師基地

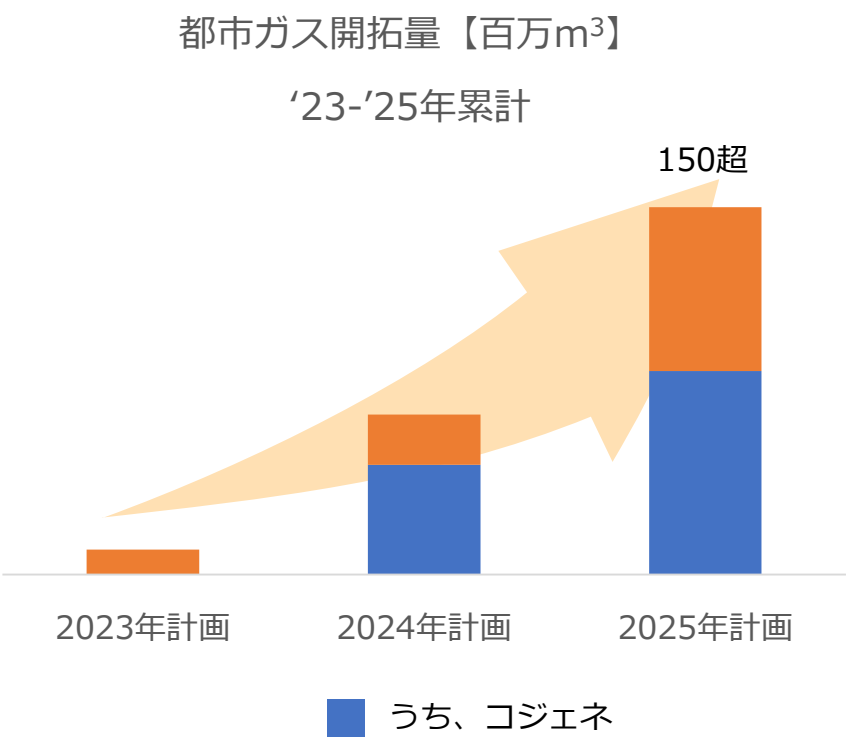
高圧パイプライン

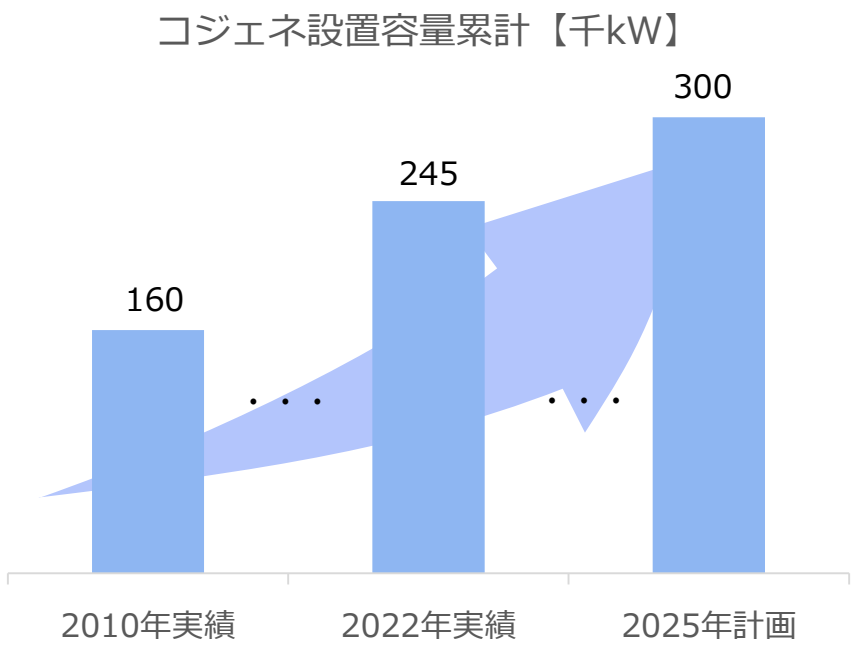
安全・安心・安定供給の更なる向上
保安業務の効率化

基盤事業の持続的成長①

天然ガスの普及拡大・高度利用の推進によるCO_2削減

- 3カ年累計で150百万m³超を開拓（産業用+業務用）。
- コジェネを拡大、エネルギー高度利用を推進。





基盤事業の持続的成長②

原料調達価格の抑制

- 高まるLNG需給の不透明感

  供給面）ロシアによるウクライナ侵攻やLNG生産･供給支障などによる
  LNG価格高騰リスク

  需要面）金利上昇による景気下押し、コロナ影響など需要変動要因の増加

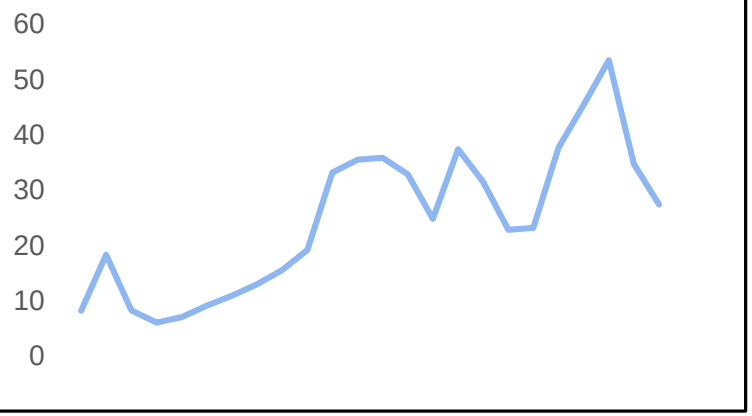
➡ 2023年はLNGの需給バランスの最適化に全力で取り組む。

✓シンガポール拠点を活用したLNG融通

✓タンクオペレーションの工夫
（リロードや基地間連携など）

✓ パイプラインを通じた需給調整

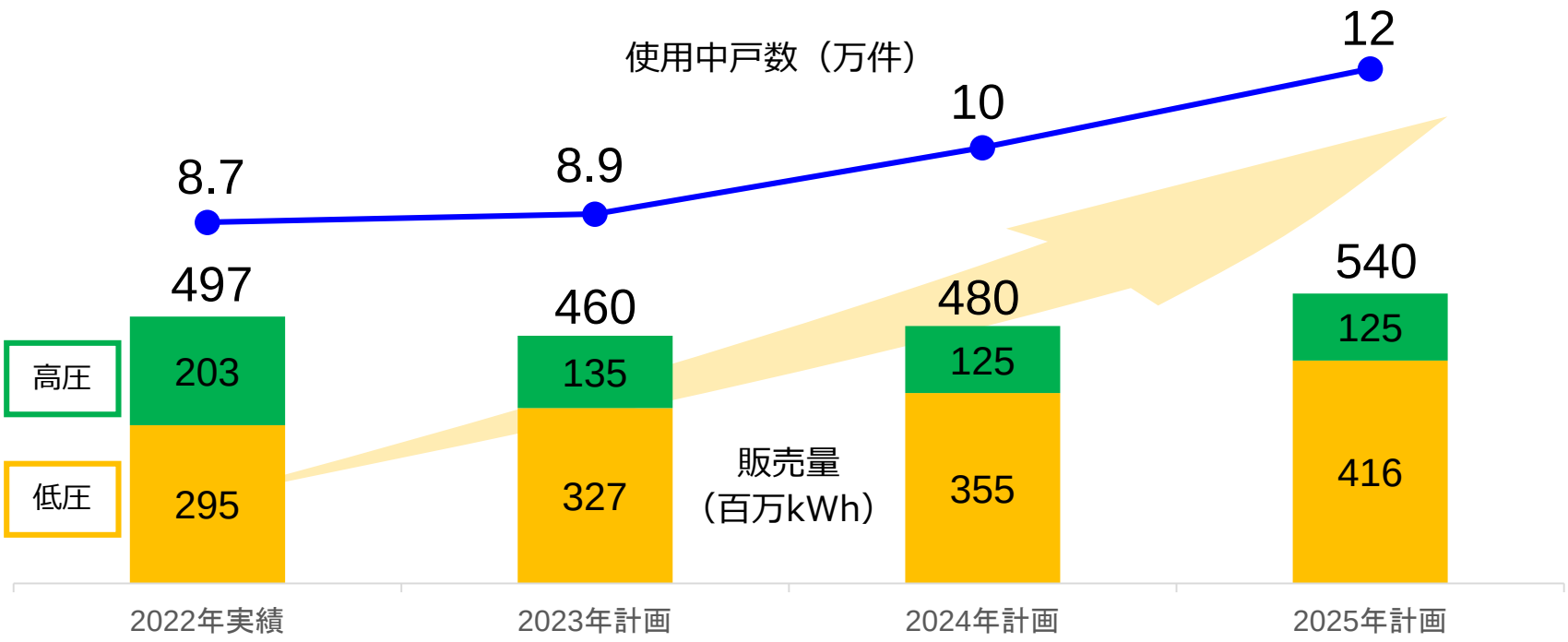
【LNGスポット価格の推移（2021年1月～）】
（単位： $/MMBTU）



電力販売事業

お客さま基盤の拡大

- 市場価格の高騰などにより、一時的に獲得数を減少させるものの、自社発電所の増設工事が完了する2023年末以降は、家庭用・業務用の低圧を中心に顧客基盤を拡大する。
- 加えて、地域のみなさまのニーズに応えていくため、デマンドレスポンスサービスやPV-PPAの導入を進める。

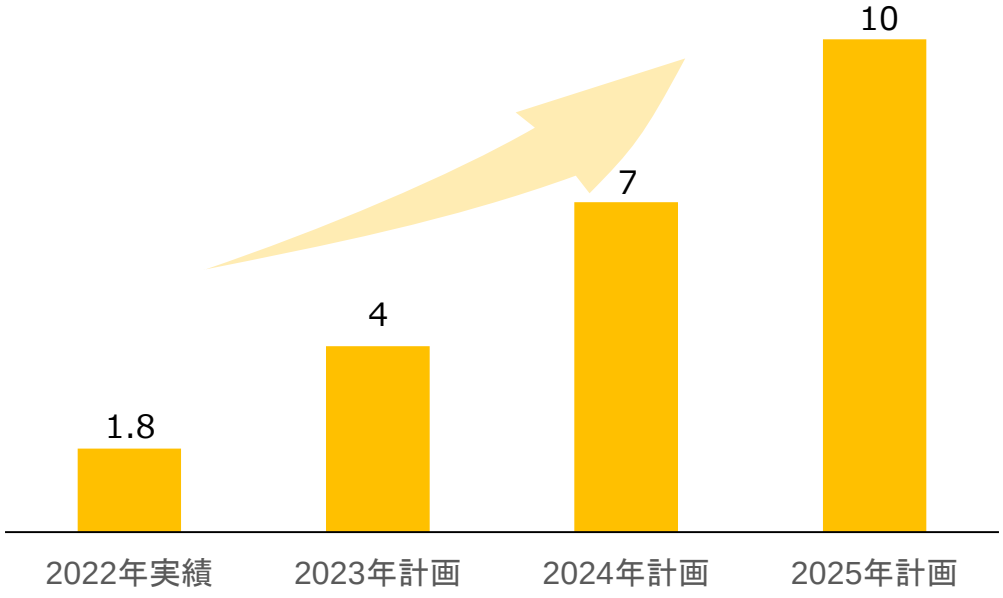


再エネ、分散型電源導入への取組み

2030年を見据えた電源開発

- PV開発では、これまでのFIT案件と並行して、自社電源への組み込みを含むFIP案件や、オフサイトPPAにも取り組む。
- バイオマスは既存PJを着実に推進し、地域バイオマス等の新規PJにも取り組む。
- 電力レジリエンス強化に資する分散型電源（コジェネ、エネファーム）の普及を進める。

再生可能エネルギーの累計稼働容量計画※【万kW】



※2021年12月期決算説明会資料では、開発（意思決定）容量を記載。
本資料から、稼働容量に変更。

海外事業

東南アジア、南アジアを中心とした事業展開の加速

- 低炭素化に貢献する天然ガス中下流事業への参画・開発を進める。
- 再生可能エネルギー開発を拡大する。
- お客さまのご要望を踏まえた、カーボンクレジット創出・調達を進める。

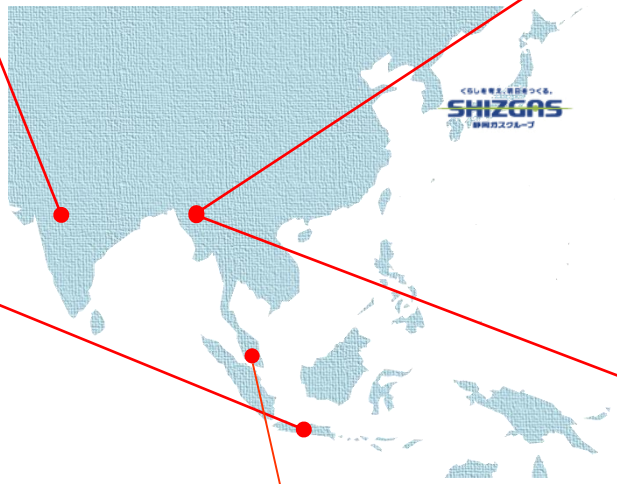
✓インド

IRM Energy

✓インドネシア

MEP

天然ガスシフト
再エネの開発推進
CO_2クレジット制度の活用



✓ シンガポール
SHIZUOKA GAS TRADING

✓タイ

VSP Vnet SG Power

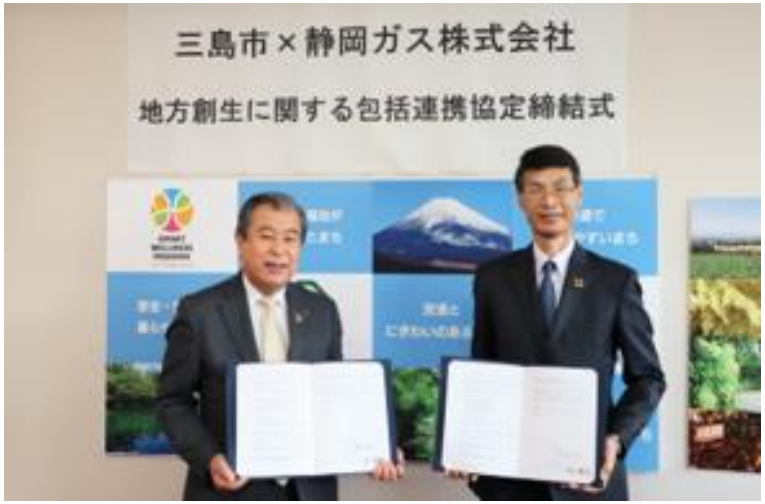
THAI-JAPAN GAS NETWORK COMPANY LIMITED

ポートフォリオ拡大

その他取組み

地域連携・脱炭素

- カーボンニュートラルや地域共創を目的とした自治体連携の拡大。
- 金融機関と連携し、地域企業等のカーボンニュートラル化を支援。

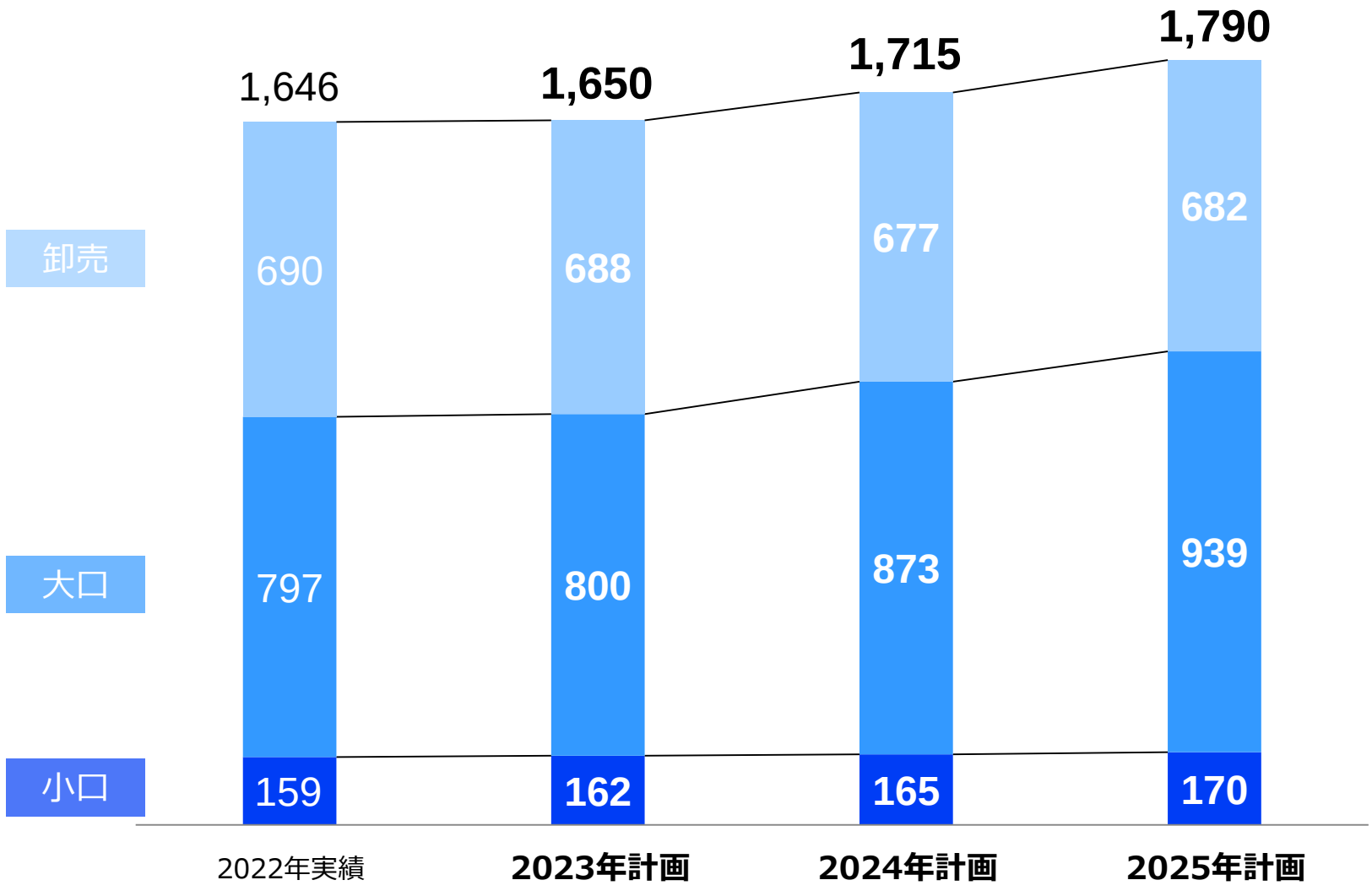


静岡県三島市との、
「地方創生に関する包括連携協定」

【下田ガス】静岡県下田市との、
「持続可能なまちづくりの推進に関する連携協定」

ガス販売量計画 個別

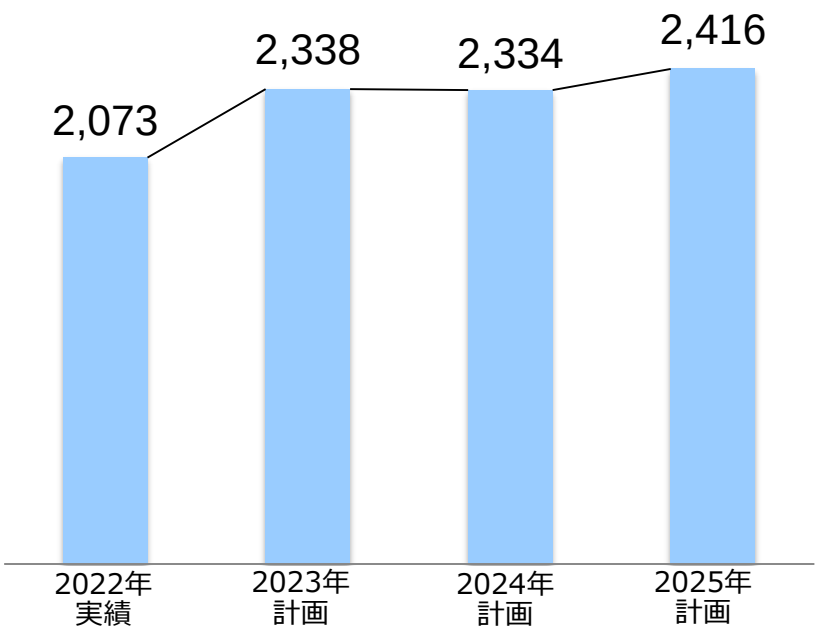
単位：百万m³(45MJ)
*百万m³未満四捨五入



売上高/営業利益計画

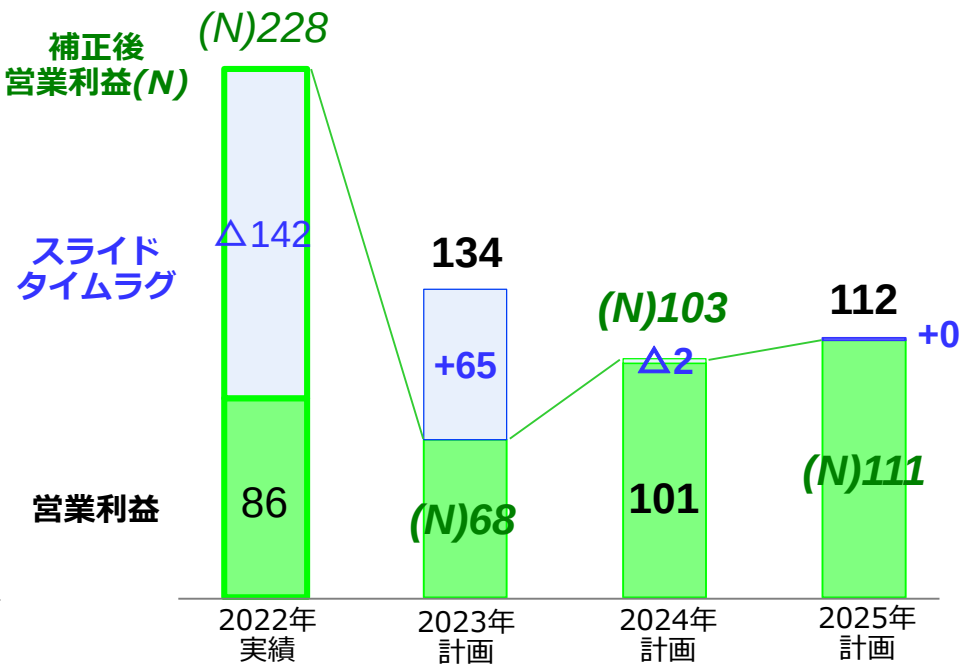
売上高

単位：億円
*億円未満切捨て



営業利益・スライドタイムラグ

単位：億円
*億円未満切捨て



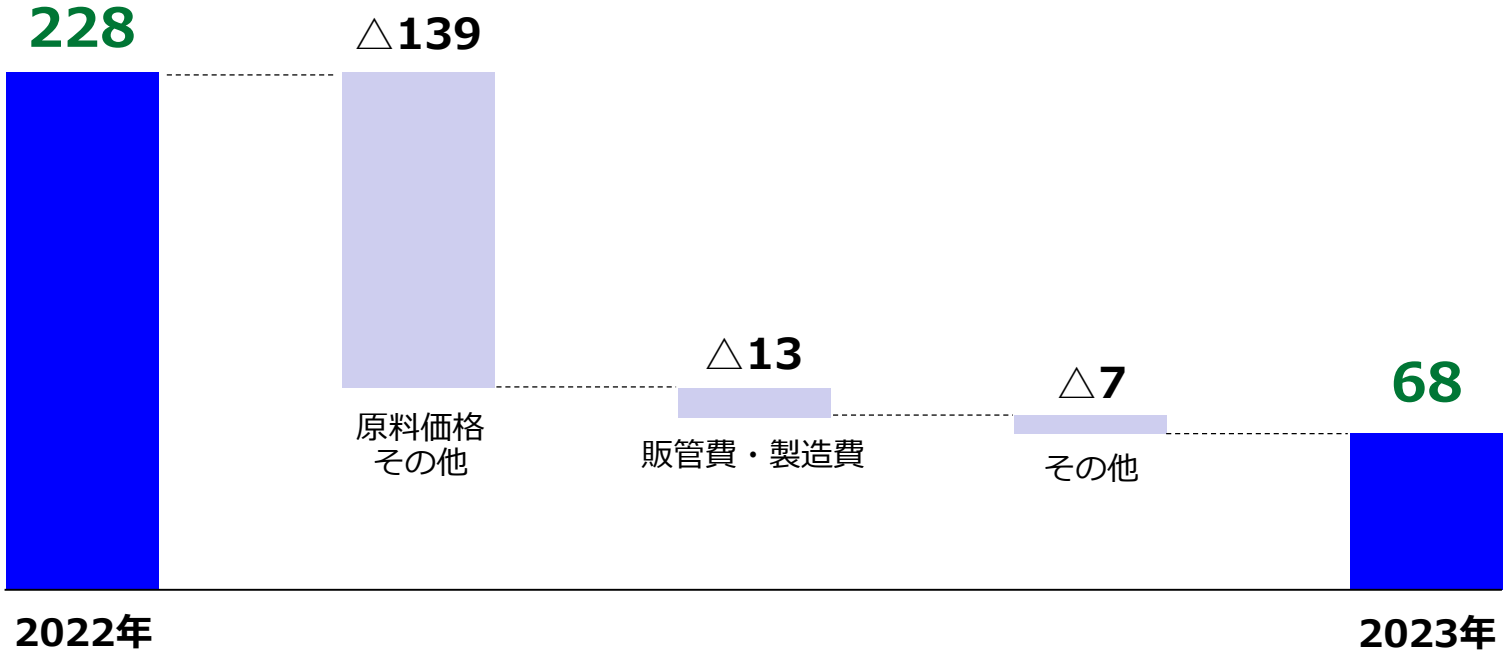
	2022年 実績	2023年 計画	2024年 計画	2025年 計画
為替レート（円/$）	**130.7**	**137.5**	**140.0**	**140.0**
原油価格 CIF（JCC）（$/bbl）	**102.7**	**97.5**	**100.0**	**100.0**

粗利影響感度（2023年）	
(+) 1円/$	**△2.0億円**
(+)1$/bbl	**△2.7億円**

2023年営業利益計画の分析（対2022年）

単位：億円
*億円未満切捨て

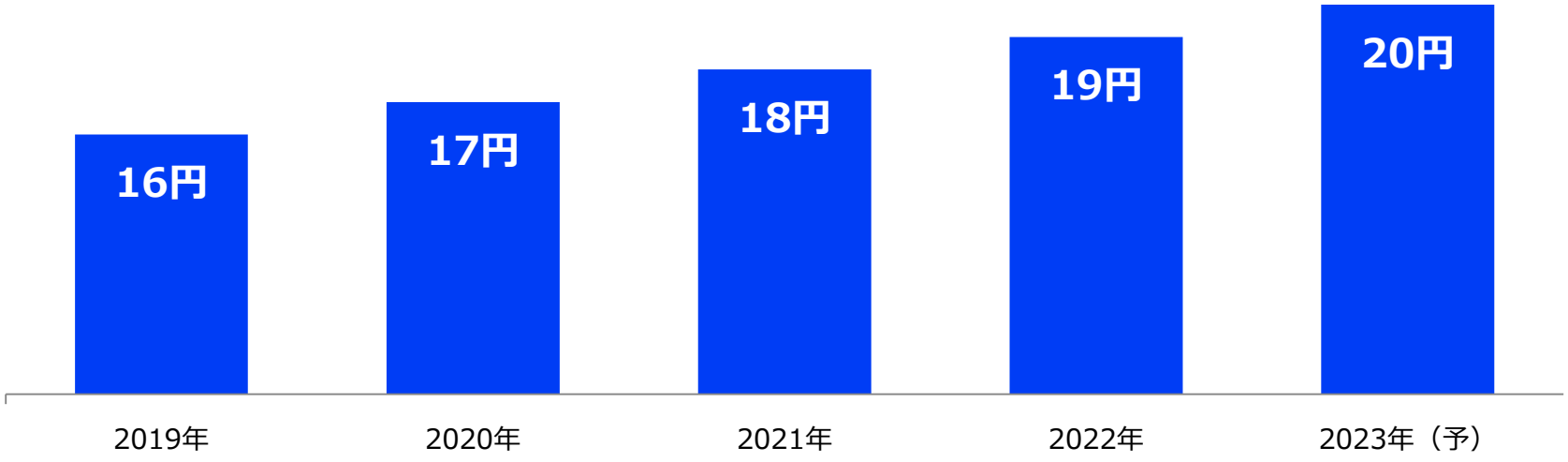
	2022年	2023年	増減
補正後営業利益	**228**	**68**	**△160**
営業利益	86	**134**	+47
スライドタイムラグ	△142	**+65**	+208



株主還元

配当方針	➢ 安定配当 ➢ 業績と株主資本配当率（DOE） ’22年 1.57% → ’23年（予） 1.54%
中間配当金	10.0円／株（予）
期末配当金	10.0円／株（予）

■年間配当金推移



Ⅲ. 参考資料　財務諸表等

ガス販売量（個別）

SHIZGAS

単位：百万m³(45MJ)
*百万m³未満四捨五入

	2022年実績	2023年計画	2024年計画	2025年計画
ガス販売量	1,646	1,650	1,715	1,790
直売	956	962	1,038	1,108
家庭用	83	84	84	84
業務用	65	67	69	72
工業用	808	811	884	952
卸売	690	688	677	682

直売内訳

大口	797	800	873	939
小口	159	162	165	170

損益計算書

単位：億円
*億円未満切捨て

	2022年実績	2023年計画	2024年計画	2025年計画
売上高	2,073	2,338	2,334	2,416
売上原価	1,696	1,906	1,932	2,001
売上総利益	376	431	402	415
販売管理費	290	297	300	303
諸給与	110	116	117	118
諸経費	109	104	104	105
減価償却費	70	75	78	78
営業利益	86	134	101	112
経常利益	94	141	108	120
当期純利益	59	92	68	76

貸借対照表

単位：億円
*億円未満切捨て

		2022年実績	2023年計画	2024年計画	2025年計画
資産		1,595	1,469	1,620	1,765
	固定資産	811	944	1,076	1,186
	流動資産	783	524	544	579
負債		598	406	498	577
	長期借入金	140	232	294	354
純資産		996	1,062	1,121	1,188

キャッシュ・フロー計算書

単位：億円
*億円未満切捨て

	2022年実績	2023年計画	2024年計画	2025年計画
営業ＣＦ	41	200	191	167
投資ＣＦ	△ 140	△ 227	△ 233	△ 208
財務ＣＦ	235	△ 107	42	41
減価償却費	87	95	102	98